



徳字 4

南無念ふべき

雲合はる谷子も
責任

南無念ふべき

心念ふべき
責任

同此、向ふべき

信の形式に止る
之類

宗門にせしむる事即

ち同義の更迭の事

第三、善好の射に候

か、此第には、国の事

28

第三(三) 革命の目的は
か 政 策 には 国 の 事
希 望 の 為 だ 清 正 地
部 七 井 仁 幸 即 ち 他
止 宜 帥 の 目 的 の
把 持 大 事 一 切
善 後 の 内 閣 衆
の 幸 一 日 一 尤 も
国 家 の 主 権 の 下 不
人 々 起 死 存 亡 之 爲
幸 一 日 一 貴 族 の 格
一 日 一 幸 一 日 一 幸
幸 一 日 一 幸 一 日 一 幸
格 一 日 一 幸 一 日 一 幸
左 一 寸 一 尺 一 丈

左一寸也

将又拂山家辅也

毛面今法官第

今力形都定一丸

法 在序へち

教道てみ方力

三三三

松方伯持山依之好子

谷子也照公其の好

は随て周下如果

面影東に存之へ

羊存尔而之表ハ

山如依り列ま出云

ノ由安ん可之次

ノ果は若は下其也

ノ推衡は其也

ノ必要あり可き次

ノ果は若しハ不満足

ノ推衡は正しく

此持てたるは必要

有乞うて存心

右に伴ひ進むる如

た³⁰田思³⁰案³⁰ま³⁰ん³⁰も

書生

の書¹林²の³出⁴二⁵美

了¹の²書³林⁴の⁵出⁶二⁷美

有¹廿²百

在¹る²也

大隈修周下